

6月定例会日程決まる

財政問題、学校給食で質問予定



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

第2回定例会は、6月2日から6月28日まで開催されます。報告3件、同意1件、承認4件、発議1件、議案10件、請願1件、追加議案1件が提案される予定です。定例会日程、山脇議員の一般質問の概要、請願（夫婦・親子の同性維持、旧姓の通称使用の拡充を求める請願）は次のとおりです。

定例会日程

6月2日 本会議（議案説明）

6月10～11日 一般質問

6月15日 健康福祉常任委員会・予算常任委員会分科会

6月16日 産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会

6月17日 総務教育常任委員会・予算常任委員会分科会

6月23日 予算常任委員会

6月28日 本会議最終日（採決）

山脇正孝議員の一般質問の日は、未定です。

山脇議員の一般質問の概要

住民の福祉につながる財政運営は

米原市の2021年度

米原市の2021年度（令和3年度）の当初予算の市税収入は、令和2年度当初予算より7446万1千円減少の見込みだが、市の一般財源は例年通り確保されるのか。

○実質収支からみる。

市の財政は赤字か黒字か、バランスのとれた財政になっているか。

○実質収支額（余剰金）と財政調整基金残高（普通預金額）の合計額からみる。米原市の資金のやりくりは上手か、やりくりのバランスはとれているか。

○財政調整基金残高を経年的にみる。

合併以来、どれぐらい積んでいるか、たくさん積みばいいのか。

○実質単年度収支からみる。

合併以来続いている実質単年度収支の黒字だが、その一部を用いて住民福祉等に役立つ事業ができるのではないか。

○経常収支比率と実質公債費比率からみる。

米原市の財政は健全か、健全化を進めるために、経常的経費と公債費の抑制等が不断に行われているか。

選択的夫婦別姓で請願

「夫婦・親子同姓を維持し、旧姓の通称使用の拡充を求める意見書の提出を求める請願」（請願者 家族の絆を守る会代表 西村久子氏、紹介議員 後藤英樹議員）

【自民党】が提出されました。選択的夫婦別姓問題で世論の劣勢に立たされた超保守派の全国的な巻き返しの一環で、県内市町での採択をねらっています。山脇議員は反対の立場で意見表明します。詳細は次号で。

学校給食費の無償化・軽減など保護者負担軽減の検討について議論を開始すべき時期に来ているのではないか。

○給食費の無償化・軽減問題を、就学援助等の社会保障の課題と捉えることをこえて、子育ての課題として位置づけ直すべき時期に来ているのではないか。

雑感

米原市の65歳以上のワクチン接種で24日の受付で混乱が生じており、受付が午前中で中止となってしまうました。多くの市民の皆さんが不安に思われたと思います。27日から再開ということを書いておいて、その時点ではまだ分かりませんがスムーズに行っていると思います。

私も数十年前、ある行政の職員としてシステムの開発に関わっていましたので、担当されている方の苦労がわかります。その当時はパソコンではなく汎用コンピューターと言われるものでシステムも自分たちで組み立てるものでした。業者はサポート程度でしたが、なかなか仕事の身を伝えても伝わっていませんでした。伝えたいつもりでも上手く伝わっていませんでした。その為、仕方なく夜中に自分達で分からないままプログラムを直しました。プログラムに「バグ（誤り）」は当たり前と言われていました。何度か修正も戻してシステムは安定します。今回のような短時間での即本番は本当に難しいです。

YouTubeを始めました。
チャンネル登録をお願いします。



この12日に国ではデジタル関連法が成立しました。この法律の中で「地方自治体のシステムの共同化・集約」が謳われています。多くの自治体が「効率化」の名のもとに、国の標準システムを使わせるを得ません。標準システムは自治体で修正できません。自治体は自治体ごといろいろな特殊事情があります。それを無視する今回のデジタル関連法案。国押し付けのシステムが本当に使い物になるか不安です。